

ヒアリングフレイル 身体
の衰えのひとつで、聴覚機
能の低下によりコミュニ
ケーションの問題や生活の
質の低下等が生じること。
聴覚機能の低下が認知症診
断結果の過小評価に繋がる
可能性等をわかりやすく伝
えるために示された、新し
い概念。

重症心身障害者等の通所事業所 必要性が高まることへの対応は



山本 みちよ (公明党)

問 本市には、重症心身障害、重度
の医療的ケア者を受け入れる事業所
がありません。そうした事業所の必
要性が今後高まることに対して、現
在、市として具体的な考えはありま
すか。また、重症心身障害、重度の
医療的ケア者の受け入れができる事
業所の開設が現実的となった場合、
重度の医療的ケアを行うスタッフの
人件費や、設備投資、事業所の賃貸
料等の運営資金が大きな課題にな
ります。こうした事業運営に対する補
助について、市の考えを伺います。

答 重症心身障害者等の方々は、医
療技術の進歩等の理由から今後も増
加していく見込みであり、通所でき
る生活介護事業所を市内に設置する
必要性は高まると考えています。今
年7月、市内で重症心身障害者及び
重度の医療的ケア者向けの生活介護
事業所の開設を考えている事業所か
ら相談があり、開設ができるか検討
に入っています。事業運営に対する
補助等に関しましては、今後、先進
自治体の事例などを検討していきたい
と考えています。

一般質問項目 ①重症心身障害・医療的ケア児(者)通所事業所について
②各種ワクチン接種について ③マイナンバーカードの普及と利用促進等
について

ヒアリングフレイル対策 早期発見の仕組みづくりを



門倉 正子 (公明党)

問 これまで加齢に伴う聴力の低下
は仕方がないこととして、あまり対
策されてきませんでした。しかし、
難聴を放置することで高齢者の心や
体、生活に大きな影響をもたらしま
す。聴覚の衰えに早く気づき、適切
な支援につなげて聴覚を維持するこ
とが大切です。難聴の高齢者の孤立
防止や介護・認知症予防の観点から
も、難聴を新たな概念の**ヒアリング
フレイル**として、対策に取り組んで
いただきたいと思います。市の見
解を伺います。

答 本市では、ヒアリングフレイル
対策の1つとして、今年7月から補
聴器購入助成事業を開始しており、
今後は、早期発見に向けた取り組み
が重要と考えています。難聴の高齢
者を早期発見するために、定期的な
聴力測定のほかチェックリストやア
プリなどを活用したセルフチェック
が重要です。市としては、今後難聴
に関する情報の普及啓発、早期発見
の仕組みづくり、購入費の助成によ
る補聴器の普及支援等による総合的
な対策が必要と考えています。

一般質問項目 ①高齢難聴者の早期発見と介護・認知症予防について
②誰一人取り残さない こども・子育て支援について

子どもの意見表明 積極的に政策に活かすべき



浅川 修一 (日本共産党)

問 市が青少年健全育成研究大会で
子ども委員会の活動をまとめて、子
どもの意見表明の場をつくってきた
ことは承知していますが、もう少し
積極的に子どもの声を政策に生かす
視点が必要と考えます。この点から、
子どもの意見表明権についての認識
をお示しください。また、こうした
事業で出された子どもの声や意見を
市の施策や学校教育をはじめとした
教育行政に生かすこと、それが市民
にも分かるように情報提供や広報す
ることについての見解を伺います。

答 これまでも市では、子どもの意
見表明の機会確保と子ども施策への
反映に取り組んできており、継続す
べきものと認識しています。子ども
の意見表明を大人もしっかりと受け
止めて、その一つでも実現に向けて
取り組んでいける方策を検討したい
と考えています。子どもの意見がど
のような協議を経て反映されたの
か、あるいはなぜ反映されなかった
のかまでのプロセスを、当事者を含
め、広くかつ分かりやすく発信す
ることにも努めていきます。

一般質問項目 ①子どもの声を市政に生かすこと等について ②国民健康
保険制度について ③南口のまちづくりについて

GovTech (ガブテック) 東京
多様なパートナーと共に都と
区市町村を含めた東京全体の
DXを効果的に進める新たな
プラットフォームとして、令
和5年に都が設立した外部組
織。デジタル人材の確保・育
成、デジタル基盤強化・共通
化等、都との協働体制でサー
ビスを展開している。

子ども委員会 夢育で・たちかわ子ど
も21プランの推進にあたり、公募によ
る小学校4年生から18歳までの児童・
生徒等で構成する委員会。立川のまち
や生活の中から、子どもたち自身が選
んだテーマに沿い、フィールドワーク
や話し合いを重ね、「こんなことがで
きたらいいな」というアイデアの実現
を目指して意見を表明する活動をして
いる。

子ども・若者の居場所の確保 跡施設や空地の有効活用を



原 ゆき (立憲ネット緑たちかわ)

問 子育て・健康複合施設が完成す
ると、子ども未来センターの一部等
が跡施設となりますが、ここを子ど
もたちの遊び場や学習スペースとし
て再構築する考えはありますか。ま
た、けやき台団地の住宅地区Cの土
地利用の方針に、一部をオープンス
ペースなどに整備し、コミュニティ
形成等に資する土地利用を図ると明
記されています。このスペースの在
り方について市も一緒に考え、子ど
も・若者の安心な居場所を増やして
ほしいと思いますが、今後の予定は。

答 近年、本庁舎を中心に執務ス
ペースの不足が課題となっています。
跡施設の活用も含め検討する必要が
あり、子ども未来センター等の跡施
設を子ども・若者の居場所として活
用することは想定していません。け
やき台団地の住宅地区Cについて
は、土地利用の方針において、新た
なニーズに対応した子育て支援等の
機能導入を図るとしていることから、
建替え計画の進展に応じて子ども
・若者の居場所の設置について議
論することは可能と考えています。

一般質問項目 ①もっと！出産・子育てしやすいまち立川へPart 5
②小児・AYA世代がん患者への支援

自治体DXの専門人材 確保のための取り組みは



江口 元気

問 国が推進する自治体DXは、自
治体の業務においてITを利用し、
職員の負担を減らし、限られた人的
資源を有効活用していくことを目的
としています。ITに長けた人材の
需要拡大により、給与が高騰し、獲
得するのが困難である状況の中、本
市でDX専門人材を任用したことを
高く評価します。今回来ていただ
いた専門委員の方の契約期間もあるた
め、今後もDX専門人材を獲得して
いくためにはどのようなことに取り
組んでいくべきと考えていますか。

答 自治体に限らず、様々な組織で
DX専門人材の必要性や需要が高ま
っており、市単独で人材を獲得する
ことは難しい状況と認識していま
す。今後もDX専門人材を確保して
いくに当たっては、今回がそうで
あったように、**GovTech東京**の人
材紹介事業を活用していくことが有
効であると考えます。また、より良
い人材を確保するためには、報酬に
ついてもしっかり検討していくことが
必要であると考えています。

一般質問項目 ①立川市のデジタル化について ②歯科口腔ケアの取り組
みについて ③根川緑道について

自治体におけるeスポーツ活用 高齢者や障がい者への普及を



高口 靖彦 (公明党)

問 若年層に人気の高いeスポーツ
ですが、近年、高齢者の認知症、フ
レイル、介護の予防や高齢者にも障
がいのある人にも健康増進の効果が
あるとされ、推進している自治体が
全国にあります。高齢者施設におけ
る体験会や出張講座のほか施設間交
流、多世代間交流、障がいの有無に
かわらず楽しめる施策等が実施さ
れており、本市でも前向きに取り組
んでほしいと考えます。eスポーツ
を推進する事業者との連携も必要と
考えますが、市の見解を伺います。

答 自治体の取り組み状況や効果に
ついては、十分に把握できていない
ため、まずは実施自治体の調査研究
が必要と考えています。また、障が
い者にとっては出会いが広がる場や
雇用機会創出の場であると認識して
います。eスポーツを活用すること
で場所も年齢も性別も関係なく楽し
むことができると考えており、市主
催のイベント等は考えておりません
が、市内で大会を開催している事業
者やeスポーツチームとの関わり方
について検討したいと考えます。

一般質問項目 ①eスポーツの活用について ②障がいのある方々への支
援について